

# 国連ミレニアム開発目標報告 2015

---

MDGs達成に対する最終評価

2015年7月6日発刊 | Global launch





## MDGs達成への進展に対する最終評価

MDG アジェンダは、これまでの歴史で最も成功した貧困撲滅のための取り組みであった。

2000年から数々の開発地域で多くの成功を導いてきた。

MDGアジェンダの成功は世界規模での取り組みが機能していることを証明。2015年以降に採択される開発目標の基盤となっている。



Photo: © UNICEF/Syed Altaf Ahmad

# MDG達成に対する最終評価 2015

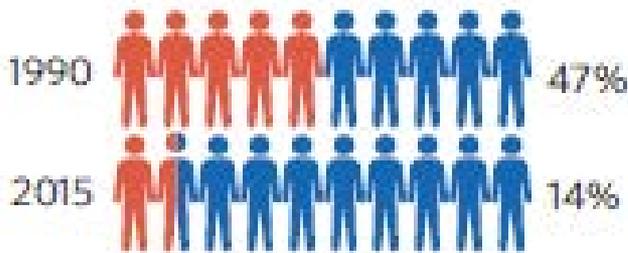
---



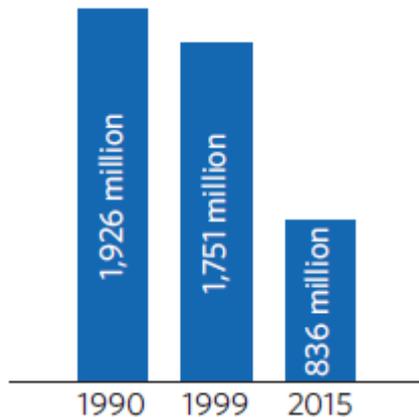
# 貧困率が半分以下に減少

## 目標： 極度の貧困と飢餓の撲滅

開発途上国における極度の貧困比率



極度の貧困の中で暮らす人々の世界的な数



1990年には、開発途上国の半数に近い人口が一日1.25ドル以下で生活していた。2015年にはその割合が14%まで減少した。

これは、10億人以上の人々が極度の貧困から脱却したと解釈できる。

開発途上地域における栄養不良の人々の割合は、1990年からほぼ半分に減少した。



2

ACHIEVE UNIVERSAL  
PRIMARY EDUCATION

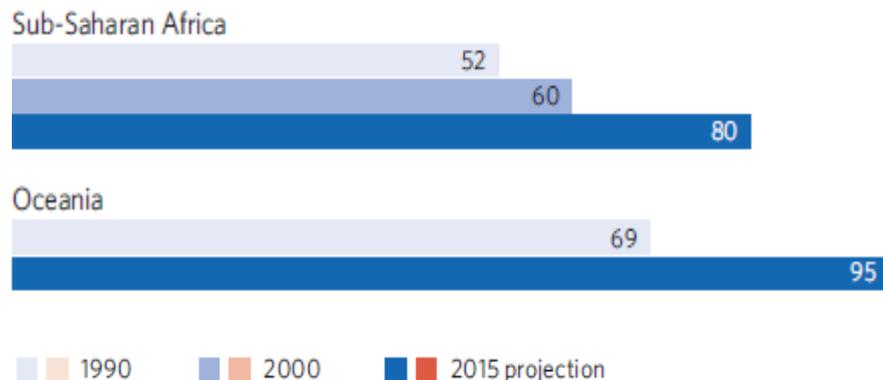
# 2000年から小学校の児童の就学率が著しく 向上

## 目標：普遍的な初等教育の達成

開発地域における小学校の純就学率は、2000年の83%から2015年には91%まで達した。

この目標は、サハラ以南アフリカを除く全ての地域において達成間近である。開発途上地域の小学校就学率の最大の増加はサハラ以南アフリカで見られた。

1990年、2000年、2015年のサハラ以南アフリカとオセアニアにおける初等教育の就学率\*（パーセント）



\* Adjusted net enrolment rate is defined as the number of pupils of the official age for primary education enrolled either in primary or secondary school, expressed as a percentage of the total population in that age group.

Note: 2000 figure for Oceania is not available.



3

PROMOTE GENDER  
EQUALITY AND  
EMPOWER WOMEN

## 開発途上地域は初等、中等、および高等教育で男女格差を解消した

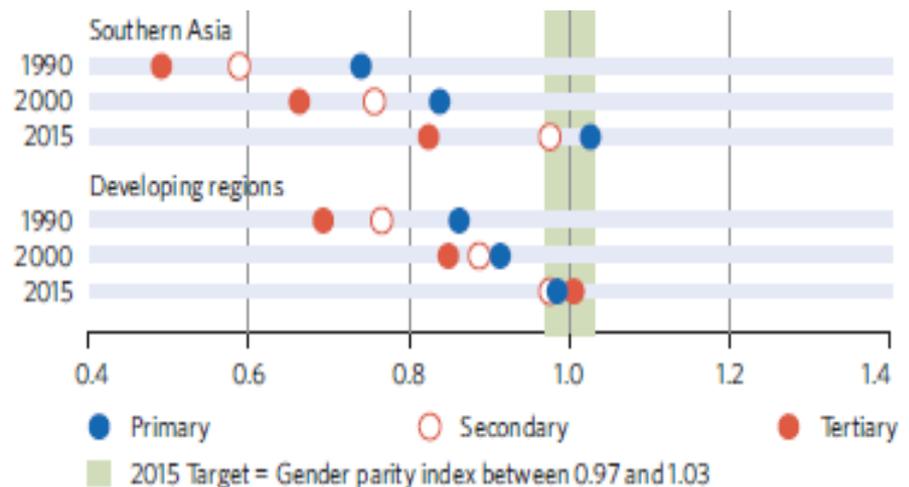
### 目標：ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上

すべての開発途上地域は、初等、中等および高等教育における男女格差を撲滅するという目標を達成した。

1990年の南アジアでは、100人の男子に比べ、74人の女子が小学校に通学していた。今日では、100人の男子と比較して103人の女子が通学している。

過去20年において、174カ国のほぼ90%の女性が政治に参加する基盤を得た。

1990年、2000年、2015年の南アジアと開発途上地域における、初等、中等および高等教育の就学率の割合のジェンダー平等指数



\* The gender parity index is defined as the ratio of the female gross enrolment ratio to the male gross enrolment ratio for each level of education.  
ジェンダー平等指数は、教育の各基準における男性の就学率の割合に対する女性の就学率の割合によって定義される。



4

REDUCE  
CHILD MORTALITY

# 予防可能な疾病による幼児死亡数の著しい低下は、人類史上で最も偉大な成果

目標： 幼児死亡率の引き下げ

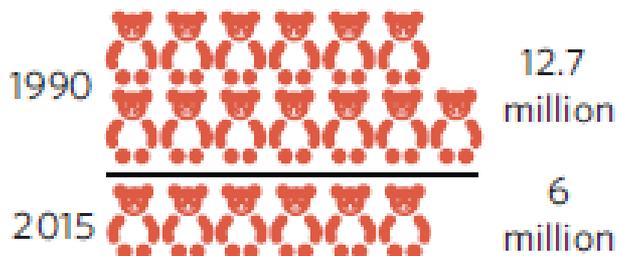


Photo: © UNICEF/Esiebo

1990年代初頭以降、5歳未満の幼児死亡率改善のペースは世界規模で3倍に加速している。

世界における5歳未満の幼児死亡率は、1990年から2015年の間に生まれた1,000人あたり90人から43人へと、半分以下に減少した。

## 5歳未満の子どもの世界的な死亡数



はしかの予防接種は、2000年から2013年の間に1,560万人の死亡を防いだ。



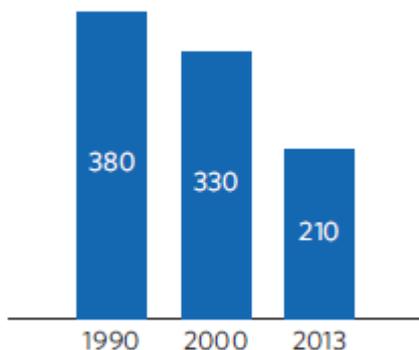
5

IMPROVE MATERNAL  
HEALTH

# 妊産婦の健康状態に一定の改善が見られた

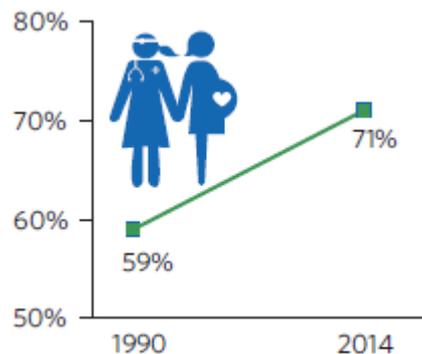
## 目標：妊産婦の健康状態の改善

世界の妊産婦死亡率 (出産10万対)



1990年以降、妊産婦の死亡率は45%減少した。これらの減少の多くは2000年以降に起こっている。

医療従事者の立会いの下に行われた出産



2014年には、世界の71%以上の出産は、医療従事者の立会いの下に行われた。これは1990年の59%から、目立った上昇である。



6

COMBAT HIV/AIDS,  
MALARIA AND OTHER  
DISEASES

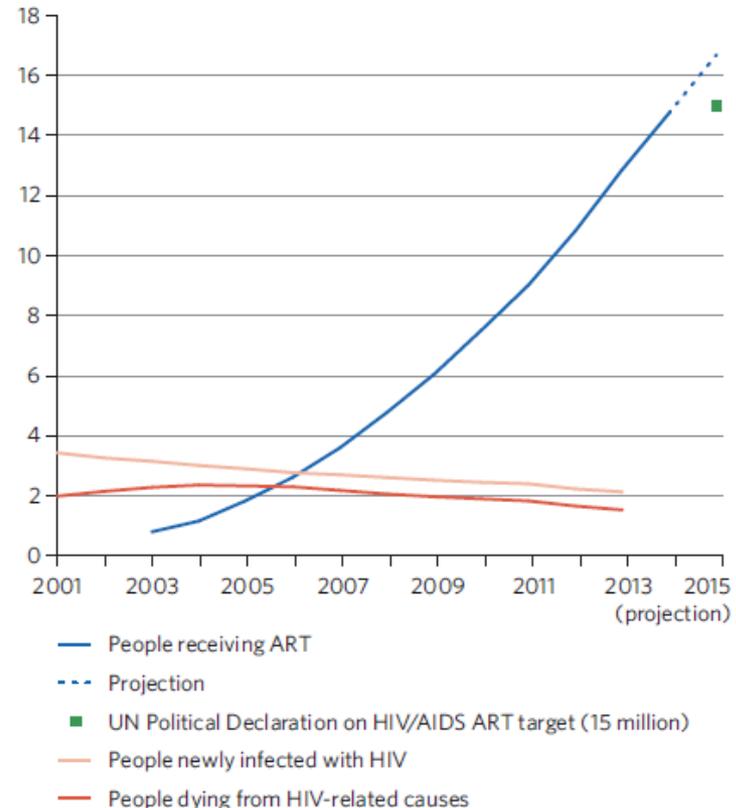
# HIV感染者が世界の多くの地域で減少

目標： HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延防止

HIVへの新たな感染は2000年から2013年の間で約40%低下し、感染者数も約350万人から210万人へ減少した。

2014年6月までに世界中で1,360万人のHIV感染者が抗HIV療法を受けていたが、これは2003年の80万人から飛躍的な進歩である。抗レトロウイルス療法によって1995年から2013年までの間に760万人がHIVによる死から免れた。

抗レトロウイルス療法を受けている人数, 2003-2015, エイズ関連起因による死亡数と新たにHIVに感染した人数, 2001-2013 (100万)





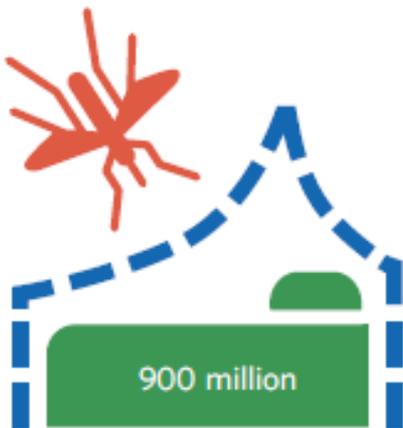
6

COMBAT HIV/AIDS,  
MALARIA AND OTHER  
DISEASES

# マラリアと結核のまん延が止まり、減少

目標： HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延防止

サハラ以南アフリカにおける殺虫剤処理された蚊帳の配布数(2004-2014年)



2000年から2015年の間に、620万人以上の人々がマラリアによる死を免れた。その多くが、サハラ以南のアフリカに住む5歳未満の子どもたちである。

2004年から2014年までの間に、9億以上もの殺虫剤処理された蚊帳が、マラリアが風土病となっているサハラ以南アフリカの国々に配布された。

2000年から2013年の間に、結核の予防、診断、治療によって、約3,700万人の命が救われた。



ENSURE  
ENVIRONMENTAL  
SUSTAINABILITY

# 安全な飲み水とオゾン層保護に関する目標を達成

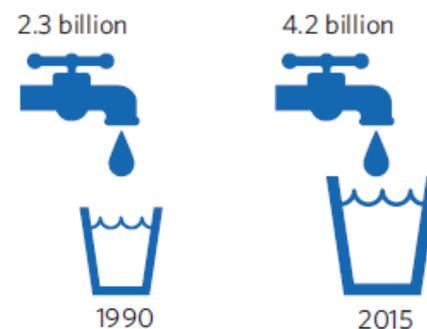
## 目標：環境の持続可能性の確保

2015年には世界人口の91%が改良された飲料水源を使用しており（1990年には76%）、目標は**期限である2015年の5年前に達成された。**

1990年以来改良された飲料水へのアクセスを得た**26億人**のうち、19億人が水道水へのアクセスを得た。

オゾン層破壊物質は1990年以来除去・消滅されており、**オゾン層は今世紀半ばまでに回復すると見込まれている。**

1990年以来19億人が水道水へのアクセスを取得



1990年以来オゾン層破壊物質の98%が除去





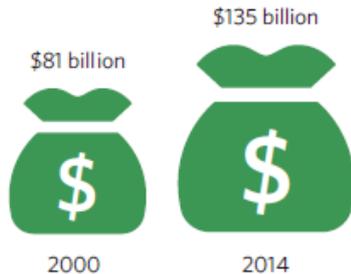
8

GLOBAL  
PARTNERSHIP FOR  
DEVELOPMENT

# ODA、携帯電話加入者数、インターネットの普及における世界的な進歩

目標： 開発のためのグローバル・パートナーシップの構築

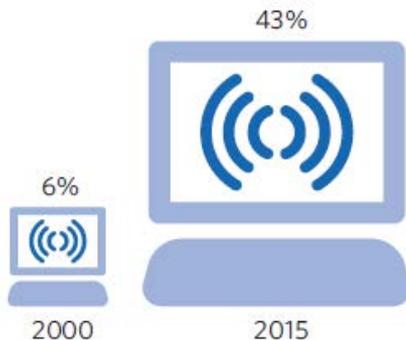
## 政府開発援助 (ODA)



ODAが2000年から2014年の間に実質66%増加し、**1,352億ドル**に到達した。

過去15年間(2000年から2015年)で**携帯電話の契約数**は7億3,800万から**70億**とほぼ10倍まで増加した。

## インターネット普及率



**インターネットの普及率**は2000年に世界人口の6%だったものが2015年には43%まで増加し、**32億人**がグローバル・ネットワークとつながった。



Photo credit: © UNICEF/Newar

# ミレニアム開発目標: 2015年成果チャート

目標とターゲット	アフリカ		アジア				オセアニア	ラテンアメリカ 及びカリブ海 周辺	カフカス及び 中央アジア
	北	サブサハラ	東	東南	南	西			

## 目標1: 貧困と飢餓の撲滅

極度の貧困を半減	軽度の貧困	非常に重度の貧困	軽度の貧困	中度の貧困	重度の貧困	軽度の貧困	—	軽度の貧困	軽度の貧困
生産的かつ妥当な雇用	大規模な不足	非常に大規模な不足	中規模な不足	大規模な不足	大規模な不足	大規模な不足	非常に大規模な不足	中規模な不足	小規模な不足
飢餓を半減	軽度の飢餓	重度の飢餓	中度の飢餓	中度の飢餓	重度の飢餓	中度の飢餓	中度の飢餓	中度の飢餓	中度の飢餓

## 目標2: 普遍初等教育の実現

普遍初等教育普及	高い入学率	中度の入学率	高い入学率						
----------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

## 目標3: ジェンダー間の平等の達成及び女性の地位向上

女兒の小学校入学における平等性	同等に近い	同等に近い	同等	同等	同等	同等に近い	同等に近い	同等	同等
女性の就業率における割合	低い割合	中程度の割合	高い割合	中程度の割合	低い割合	低い割合	中程度の割合	高い割合	高い割合

誰一人として置き去りにしない  
—残された課題—

---

# 男女間の不平等が続く

女性は、就業機会、資産、公私の意思決定において未だに差別に直面している。

また、女性は男性より貧困状態に置かれている傾向がある。

国会議員に占める女性の割合は5人に1人とどまっている。



Photo: ©Tran Thi Hoa/World Bank

# 最貧困層と最富裕層、 都市部と農村部の格差の存在



Photo: © UNICEF/Romenzi

最貧困層家庭の子どもは最富裕層家庭の子どもに比べ、**4倍の確率**で学校に通っていない。

最貧困層家庭の5歳未満の幼児死亡率は、最富裕層家庭の子どもに比べ**2倍高い**。

農村部で生活している人々の**50%**は安全な衛生施設を有していない。これに比べ、都市部で、安全な衛生施設を有していない人々の割合は**18%**である。

# 気候変動と環境悪化が達成すべき目標を阻んでいる

世界の二酸化炭素排出量は、1990年以降**50%以上**増加している。

**水不足**は世界の人口の**40%**に影響を及ぼし、今後もその割合は増加すると見込まれている。

海洋漁業資源の乱獲は、**生物学的利用限界内の資源割合の減少**へ導いた。1974年の**90%**から、2011年は**71%**へと減少している。



Photo: © UN Photo/Ky Chung

# 紛争は人間開発の最大の脅威である



Photo: ©Jodi Hilton/IRIN

2014年末において、紛争のために家を捨て去らなければならなかった人の数は約**6000万人**に上った。これは第2次世界大戦以降、最大の数字である。

紛争により、毎日、平均して**42,000**人ものが、**強制的な移動**を強いられ、保護を求めている。これは2010年の11,000人に比べ、4倍の数である。

脆弱な国、紛争の影響を受けている国々は、一般的に**最も高い貧困率**を有している。

# 数百万人の貧しい人達は、未だに基本的サービスへのアクセスが無く、貧困と飢餓の中で暮らしている

約8億人が未だに極度の貧困の中で生活し、飢餓に苦しんでいる。

世界の約半数の労働者が未だに望まれない環境の中で働いている。

毎日約16,000人の子どもたちが、5歳の誕生日を迎える前に命を落としている。これらの死因の多くは予防可能なものである。

3人に1人(24億人)が未だに改善されていない衛生施設を使用している。9億4,600万人が未だに屋外排泄を行っている。

8億8,000万人がスラムの様な環境下で生活していると推定されている。



Photo: ©Kaori Kobayashi/UNDP Picture This

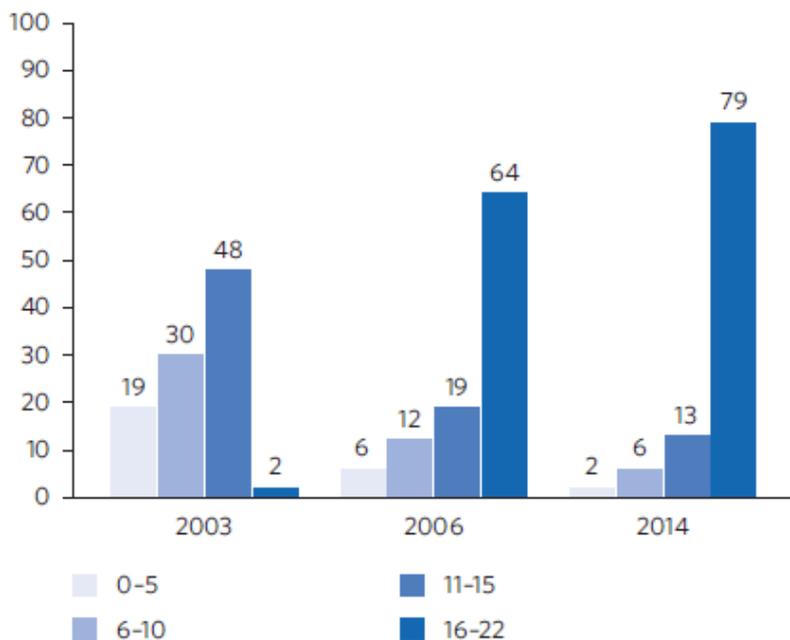
MDGsから

ポスト2015開発アジェンダへの移行

---

# 持続可能な開発のための持続可能なデータ

選出された22のMDG指標に、各最低2つのデータポイントを持つ開発途上地域内の国と領域の割合  
(2003年、2006年、2014年/パーセント)



MDGsのモニタリングによって、データは開発アジェンダには必要不可欠であることが分かった。指標で評価されるゆえに目標達成が可能となる。

より質が高く、より迅速に入手でき、かつ構成グループに分類することのできるデータが、ポスト2015年開発アジェンダには求められている。

新しい開発アジェンダに必要なデータを整備するには、強い政治的な公約とさらに多くの財源が求められている。



# ポスト2015年開発アジェンダへの移行を弾みとして

環境保護や、平和と人権の保証を実現しながら、人々のニーズを満たし、経済変化に対応するための、力強い新アジェンダが生まれる兆しが見える。

過去15年間のMDGsの成功が、グローバルな取り組みは有効であることを物語っている。グローバルな取り組みは新開発アジェンダが提唱する新しい課題“誰一人として置き去りにしない”を実現する唯一の方法でもある。

「MDGsを振り返り、今後の15年を見据えた際、私たちに課せられた責任は必ず果たされると確信しています。貧困を撲滅し、誰ひとり置き去りにすることなく、全ての人々の尊厳が確保されるような世界を実現するという責任が私たちにはあるのです。」

— 潘基文(パン・ギムン)国連事務総長



2015年は節目となる重要な年です。私たちはミレニアム開発目標を達成します。そして今、持続可能な開発目標を含む、持続可能な開発のための展望への一步を踏み出しました。私たちはまた、新たに、普遍的な気候に関する合意を目指していきます。

潘 基文(パン・ギムン)国連事務総長

---

<http://mdgs.un.org>

